

スポーツ少年団における保護者の期待と評価の分析

～アンケート記述における内容分析を用いて～

The Guardians Analysis of expectation and evaluation for junior sports clubs

— content analysis of Questionnaire description —

体育学部体育学科

田原 陽介

TAHARA, Yosuke

Department of Physical Education

Faculty of Physical Education

キーワード：スポーツ少年団, 保護者, 内容分析

Abstract : The necessity for the cooperation consciousness of a “school”, the “community”, and a “home” in recent years is said. About a guardian’s expectation and evaluation to Junior Sports Club, after conducting question paper investigation, content analysis was conducted. The outline of the obtained result is as follows.

The category of what a guardian expects from the Junior Sports Club was able to be carried out to five, such as interpersonal relations, the improvement in competitive abilities and the improvement in physical strength, mental gymnastics, local revitalization, and entrance into a school of higher grade.

The category of the evaluation of the sport Boy Scouts by a guardian was able to be carried out to five, such as human relationships, leader, policy of operation, and guardian, and training place.

The future research task needs to examine the relationship of the expectation which the guardian recognizes, and a result, and relationship with leader recognition.

Keywords : Junior Sports Clubs, Guardian, content analysis

I. 問題の所在

近年、子どもを取り巻く環境は、少子化や核家族化による問題や、地域コミュニティ低下による子どもへの関心の低下等、様々な変化に直面している。これらの諸問題に対して、よりよい教育環境の整備として「学校」「地域」「家庭」の3者連携に対する意識が高まりつつある。2011年に文部科学省⁴⁾による「スポーツ立国戦略」の中でも、学校と地域の好循環は謳われており、子ども達のスポーツ環境について周辺環境の連携が望まれている。

さて、子どもたちの地域スポーツ環境に目を向けると、スポーツ少年団の存在は見逃せない。わが国におけるスポーツ少年団は1962年に創設されて以来、地域のスポーツ環境として大きな役割を果たしてきたと言

えよう。スポーツ少年団は子どもが主体的に活動できるよう「地域」と「家庭」が連携し、その環境を整えていくことが求められるであろう。

スポーツ少年団について谷口⁵⁾は、多くのスポーツ少年団は本来の目的を見失う「脱理念」的方向へ志向しているとしている。つまり、創設当時の理念・目的が遵守されることなく「主たるスポーツ活動」のみに傾倒してしまっていると考えられる。

では、なぜスポーツ少年団は「脱理念的発展過程」を歩んでしまうことになってしまったのか。これについて犬飼²⁾は、スポーツ少年団の子ども、指導者、保護者の活動目的を分析し、子どもには「試合にでて勝ちたい」「うまくなって試合に出たい」という勝利志向的なのに対して、指導者や保護者は「健康の保持・増進」や「人間形成」などの目的が強い事を明ら

かにした。さらに藤原ら¹⁾は、「スポーツ少年団の問題発生の本来的原因の一つには、指導者をはじめとするまわりの大人たちがもつ勝利に対する意識・態度が強く関係している」と論じている。つまり、スポーツ少年団は子どもの主体的な活動の論理ではなく、指導者や保護者の論理で動いていると言えよう。

そこで、本研究では、スポーツ少年団に関する保護者の認識に着目する。具体的には、保護者はスポーツ少年団に対して何を期待し、どのような評価の観点をもっているかである。地域と家庭とが連携し、よりよいスポーツ環境づくりに向けて、まず保護者の考え方を的確に捉えたうえで、その内容に対応した具体的な取り組みを示す必要があるだろう。

スポーツ少年団の保護者については、上杉⁶⁾が保護者の意識について調査を実施し「スポーツ推薦入学への願望がスポーツ少年団活動に対する保護者の関与の仕方や期待となって表れている」ことを明らかにした。さらには、その願望が強い者ほど少年団活動への関わり合いが積極的になっているとの報告を行っている。このことは、保護者の意識が実際のスポーツ少年団の活動へ影響を与えている可能性を示唆している。近年の、「学校」「地域」「家庭」の連携意識の高まりから、今一度、スポーツ少年団に対する保護者の意識、つまり、保護者はスポーツ少年団をどのように期

待し、認識し、評価しているのかを明らかにする必要がある。

そこで、本研究では、スポーツ少年団に対する保護者の期待と評価について明らかにすることを目的とした。

II. 研究の方法

1. 研究対象およびデータ収集の方法

本研究の対象地区であるA市は、岡山県の東部に位置し、平成17年にいくつかの町が合併して誕生している。豊かな自然や文化遺産に恵まれる一方で、都会的な環境整備も進んでいる。

本研究対象者は、A市のスポーツ少年団（6種目21団体）の保護者である。各少年団が活動している運動場で直接保護者へ質問紙を配布し、自宅へ持ち帰り記入してもらい一週間後、各少年団で回収した。364部を配布し、回収は124部であった。有効回収率は34.1%であった。

質問紙の調査内容は、対象者の基本属性（年齢、性別、参加少年団）およびスポーツ少年団に対する意識である。それぞれの項目について、自由記述にて回答してもらった（表1）。

表1 調査項目

①年齢（20代、30代、40代、50代、60代、70代以上）
②性別（男・女）
③参加少年団名（ <input type="text"/> ）
④スポーツ少年団にどのようなことを期待しますか？いくつでも自由に記入ください。 (<input type="text"/>)
⑤スポーツ少年団をどのように評価しますか？（良い点、悪い点）いくつでも自由に記入してください。 (<input type="text"/>)

2. データの分析方法

データの分析は、Berelson³⁾による内容分析の手法を参考に用いた。個々の調査票を精読し、スポーツ少年団への「期待」「評価」に関する記述部分を抽出した。内容が一文一義であるように記述を区切り、一記録単位とした。さらに個々の記録単位を内容の類似性により機能的に分類・抽象化し、カテゴリ化した。最後に同一記録単位群・カテゴリに分類された記録単位の出現頻度・比率を算出した。なお、結果の信頼性を確保するために、自由記載からの記録単位とその解釈およびカテゴリ化は、共同研究者および研究協力者4名がすべて合意する手続きをとった。

3. 調査期間

平成23年10月～平成24年1月

4. 倫理的配慮

対象地区A市のスポーツ少年団を運営するコーチに研究の趣旨を文章および口頭で説明し、協力の承諾を得た。そのうえで、保護者に調査の趣旨・方法について説明し同意を得た保護者のみ協力をお願いした。この際、研究への参加は自由意志であり協力しなくても不利益も被らないこと、得られたデータは本研究以外では使用しないこと、研究成果の公表時は個人が特定されないように匿名性を確保すること、データの保管

には細心の注意を払い研究終了後は速やかに破棄する事を説明した。

Ⅲ. 結果

1. 分析対象とした記録単位数

アンケート（自由記述）に回答のあった124名の「スポーツ少年団への期待と良い点、悪い点」という主題について、1つの主張が記述されている言語データを記録単位とし、文脈単位は自由記述全体とした。自由記述より43記録単位を抽出し、分析対象とした。

2. 対象者の基本属性（表2）

分析対象者の年齢は、40代が最も多く（62.9%）、次いで30代（32.3%）であった。性別は、男性49人（39.5%）、女性75人（60.5%）。所属しているスポーツ少年団の種目は、野球24名、サッカー21名であり、バスケット、バレーと続いた。

表2 対象者の属性

		n=124	
属性	分類	人数	
年齢	20代	3	
	30代	40	
	40代	78	
	50代	3	
	60代	0	
	70代以上	0	
性別	男	49	
	女	75	
所属少年団	野球	24	
	バレー	13	
	ソフトボール	11	
	バスケット	16	
	バドミントン	6	
	サッカー	21	
	テニス	10	
	柔道 少林寺拳法	11 12	

3. スポーツ少年団に対する保護者の期待に関連するカテゴリ（表3）

1) 【対人関係に関する期待】

このカテゴリは6記録単位から形成された。記録単位は「友達をつくってほしい」「友達と仲良く活動してほしい」という、友人関係への期待が見られた。また「指導者とのコミュニケーションをとってほしい」「人の話をきちんと聞いてほしい」「自分の意見が話せるようになってほしい」など、コミュニケーションに関する期待も見られた。

2) 【競技力・運動能力向上に関する期待】

このカテゴリは4記録単位から形成された。記録単位を見ると「上手くなってほしい」「体が強くなってほしい」「健康になってほしい」「体力をつけてほしい」のように、競技力・運動能力向上に関する期待に分類できた。

3) 【精神の鍛錬に関する期待】

このカテゴリは3記録単位から形成された。記録単位をみると、「一生懸命努力する人間になってほしい」「礼儀を教えてほしい」「努力する気持ち」といった、精神の鍛錬に関する期待に分類できた。

4) 【地域活性化に関する期待】

このカテゴリは3記録単位から形成された。記録単位を見ると、「A市を代表する少年団になってほしい」「岡山県代表になってほしい」「地域に明るい話題を提供してほしい」といった、スポーツ少年団が存在する地域の活性化に関する期待に分類できた。

5) 【進学に関する期待】

このカテゴリは4記録単位から形成された。記録単位を見ると、「高校に推薦で行ってほしい」「強豪校へ行って甲子園に行ってほしい」「〇〇高校へ行ってほしい」「大学へ推薦で入ってほしい」といった、進学に関する期待に分類できた。

表3 スポーツ少年団に対する保護者の期待 カテゴリ

		n=124	
	カテゴリ	記録単位	
1	対人関係に関する期待	友達をつくってほしい	
		友達と仲良く活動してほしい	
		指導者とコミュニケーションをとってほしい	
		人の話をきちんと聞いてほしい	
		自分の意見が話せるようになってほしい	

2	競技力・運動能力向上に関する期待	上手くなってほしい
		体が強くなってほしい
		健康になってほしい
		体力をつけてほしい
3	精神の鍛錬に関する期待	一生懸命努力する人間になってほしい
		礼儀を教えてほしい
		努力をする気持ち
4	地域活性化に関する期待	A市を代表する少年団になってほしい
		岡山県代表になってほしい
		地域に明るい話題を提供してほしい
5	進学に関する期待	高校に推薦で入ってほしい
		強豪校へ行って甲子園に行きたくしたい
		〇〇高校へ行って欲しい
		大学へ推薦で入ってほしい

4. スポーツ少年団に対する保護者の評価に関するカテゴリ (表4)

1) 【人間関係に関する評価】

このカテゴリは4記録単位から形成された。記録単位を見ると、「メンバー同士仲が良い」「メンバー同士仲が悪い」「ほかの学年のメンバーと仲がいい」「楽しそうに話している」といった、人間関係に関する評価に分類できた。

2) 【指導者の指導方針に関する評価】

このカテゴリは5記録単位から形成された。記録単位を見ると、「専門知識がない」「勝つことだけが目標になっている」「指導者が少ない」「練習が厳しい」「自由な雰囲気がない」といった、指導者に関する評価に分類できた。

3) 【運営方針に関する評価】

このカテゴリは6記録単位から形成された。記録単

位を見ると、「レギュラーになれない」「親が口を出しすぎている」「指導者が口を出しすぎている」「6年生に引退があるがおかしい」「活動日数が多すぎる」「活動日数が少なすぎる」といった、運営方針に関する評価に分類できた。

4) 【保護者の負担に関する評価】

このカテゴリは4記録単位から形成された。記録単位を見ると、「送り迎えが大変」「月謝が高い」「遠征等の応援が大変」「応援Tシャツなどのお金がかかる」といった、保護者の負担に関する評価に分類できた。

5) 【練習場に関する評価】

このカテゴリは4記録単位から形成された。記録単位を見ると、「練習場まで遠い」「練習場が空いている日が少ない」「グラウンドがせまい」「練習場が古い」といった、練習場に関する評価に分類できた。

表4 スポーツ少年団に対する保護者の評価 カテゴリ

n=124

	カテゴリ	記録単位
1	人間関係に関する評価	メンバー同士仲が良い
		メンバー同士仲が悪い
		他の学年のメンバーと仲がいい
		楽しそうに話している
2	指導者に関する評価	専門知識がない
		勝つことだけが目標になっている
		指導者が少ない
		練習が厳しい
3	運営方針に関する評価	レギュラーになれない
		親が口を出しすぎている
		指導者が口を出しすぎている
		6年生に引退があるが、おかしい
		活動日数が多すぎる
活動日数が少なすぎる		

4	保護者の負担に関する評価	送り迎えが大変
		月謝が高い
		遠征等の応援が大変
		応援Tシャツなどのお金がかかる
5	練習場に関する評価	練習場まで遠い
		練習場が空いている日が少ない
		グラウンドがせまい
		練習場が古い

IV. 結びにかえて

本研究では、スポーツ少年団に対する保護者の期待や評価について、質問紙調査を実施したうえで内容分析を行った。得られた結果の概要は以下のとおりである。

まず、スポーツ少年団に対する保護者の期待に関しては、①対人関係に関する期待、②競技力・運動能力向上に関する期待、③精神の鍛錬に関する期待、④地域活性化に関する期待、⑤進学に関する期待の5つにカテゴリすることができた。

次に、スポーツ少年団に対する保護者の評価に関しては、①人間関係に関する評価、②指導者に関する評価、③運営方針に関する評価、④保護者の負担に関する評価、⑤練習場に関する評価の5つにカテゴリすることができた。

以上の事から総合的な考察を行うと、まず、スポーツ少年団に対して保護者は、多角的な視点から期待や評価していることが伺える。1962年に創設された当初のスポーツ少年団の理念は、「平和への2つの道」、「スポーツの本質」、「スポーツの効果」、「日本スポーツ少年団の指導原理」、「時代の要求する少年像」という5章構成により示されており、要約すれば「スポーツを通じた青少年健全育成」という活動目標が存在しているといえる。本研究でカテゴリされた「対人関係に関する期待」、「競技力・運動能力に関する期待」、「精神の鍛錬に関する期待」は子どもたちの健全育成に関する項目である。一方で、「地域活性化に関する期待」、「進学に関する期待」は性質が異なる。「地域活性化に関する期待」に関しては、スポーツ少年団の活躍（全国大会進出等）により、地域社会のコミュニティの立場を果たす役割に大きな期待を寄せられていると考えている。また、「進学に関する期待」に関しては、スポーツ推薦等で高校、大学へ進学してほしいという親の願いである。この2点に関しては、スポーツ少年団を目標達成のための一つの「手段」として認識されており、そこにはスポーツ少年団の指導にあた

り大人たちの意識が強く関係していることは明白である。

また、スポーツ少年団に対する保護者の期待や評価の中で「対人関係に関する期待」と「人間関係に関する評価」がカテゴリ化された。スポーツ少年団では、基本的にそのスポーツ少年団の活動の趣旨や内容に同意すれば、誰でも入団できる。学校では、学区の存在により近隣に居住していても別の小学校へ通学せざるをえない場合や、異年齢との交流が疎遠になる場合がみられる。スポーツ少年団では、そのような学区や年齢の壁を超えて活動や交流しあう現象が頻繁に起こる。スポーツ少年団を通して「異質集団での活動」が可能となり、他者との対人関係を学ぶ教育的機会ととらえていることが考えられる。

スポーツ少年団の活動は、スポーツを通じた青少年健全育成を目指すもので、我が国において地域と家庭が連携し、整えてきた子どもたちの貴重なスポーツ環境である。また、豊かなスポーツライフを生涯にわたり続けるクラブ経験の場でもある。今後、より一層の地域と家庭で連携する上で、保護者がスポーツ少年団に何を期待し、評価しているのか検討したことは、今後の基礎的な資料となると考える。

今後は、保護者が認識している期待と成果の関係性や、指導者認識との関係性について検討していく必要があると考える。

引用文献

- 1) 藤原誠・堺賢治 (1989), スポーツ少年団の指導者に関する研究, 愛媛大学教養学部紀要, 第22号 II, pp67-76
- 2) 犬飼義秀 (1987), 子どものスポーツを考える, 体育・スポーツ社会学研究会編, 道和書院, pp85-98
- 3) Klaus Krippendorf (1980): An Introduction to Its Methodology, 三上俊治・椎野信雄・橋本良明訳 (2005) メッセージ分析の技法「内容分析」への招待, 頸草書房

- 4) 文部科学省 (2010), スポーツ立国戦略
- 5) 谷口勇一 (2005), スポーツ少年団活動の質的変容から導き出すべきスポーツ界の課題, 大分大学教育福祉科学部紀要, 第27巻 (1), pp113-121
- 6) 上杉正幸 (1991), スポーツ少年団に関する保護者の意識の分析-保護者のスポーツ推薦入学願望の分析-, 香川大学教育学部研究報告第一部第82号, pp192
- 7) 財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団本部 (1993), スポーツ少年団30周年史